

トーク・アバウト・シネマ

■対談者プロフィール

●北條 則明(ほうじょう のりあき)

1950年東京都生まれ。子どものころより模型少年。20代後半に映像、VFXの世界で5年間の香港勤務を経験。その後、1982年に株式会社シネボーイを設立し、現在に至る。『ゴジラ』シリーズなどの特撮作品に多数参加。その他の参加作品に『ヤングマスター 師弟出馬』(1980年、東宝東和)、『竹取物語』(1987年、東宝)、『酔拳II』(1992年、東宝東和)をはじめとする映画やテレビCMなど。

●中野 昭慶(なかの てるよし)特技監督

1935年満州(現在の中国・丹東)生まれ。日本大学芸術学部卒業。1959年、東宝砧撮影所に演出助手として入社するも、円谷 英二に見出され、1962年より師事。『クレージーの大爆発』(1969年、東宝)の特殊技術でデビューし、『日本沈没』(1973年、東宝)で3代目の特技監督に昇進する。以後東宝特撮路線の軸となって『ゴジラ対メカゴジラ』(1974年、東宝)などの『ゴジラ』シリーズ、『ノストラダムスの大予言』(1974年、東宝)などの破壊スペクタクル、『連合艦隊』(1981年、東宝)などの戦記作品に腕を振るう一方、数々のテーマパーク映像演出にも参加している。

●桜井 景一(さくらい けいいち) 撮影

1950年鹿児島県生まれ北海道育ち。中学生のときに8mmで独学の特撮を始める。修学旅行の際、1人で見学に訪れた東宝スタジオにて業界入りを決意。大学へ入るも中退し専門学校へ行く。卒業後、東宝映像美術に入社。『東京現像所 VS キングギドラ』(1991年、東宝)のVSシリーズ、『モスラ3 キングギドラ来襲』(1998年、東宝)など特撮映画に多数参加。現在もフリーの撮影として『巨神兵東京に現る』(2012年、ティ・ジョイ、カラー)や『進撃の巨人 ATTACK ON TITAN』(2015年、東宝)、『シン・ゴジラ』(2016年、東宝)など話題作に参加し精力的に活動している。

●宮西 武史(みやにし たけし) 光学撮影

1942年東京都生まれ。カメラマンだった父親の影響を受け、1961年に高校卒業と同時に専門学校に通う。1962年に東宝撮影所特技センターのアルバイトとして参加。その後正社員となり撮影助手として富岡 素敬に師事。1968年より光学撮影を担当し、1973年より光学撮影の総責任者となる。『ゴジラ』シリーズをはじめ特撮作品に多数参加。その他の主な参加作品に『日本沈没』(1973年、東宝)や『影武者』(1980年、東宝)、TVシリーズ『西遊記』(1978~1980年、日本テレビ系)など。

●小川 利弘(おがわ としひろ) 視覚効果プロデューサー

VFX プロデューサー、1941 年東京都生まれ。1959 年株式会社東京現像所入社。現像、焼き付け課を経験後、タイミング課とオプティカル課を兼務。オプティカル・スーパーバイザー、視覚効果プロデューサーを務める。コマーシャルの特殊効果を経て、1989 年から映画を担当。ゴジラシリーズは『ゴジラ VS ビオランテ』(1989 年、東宝)から『ゴジラ FINAL WARS』(2004 年、東宝)まで 12 作品を担当。その他の参加作品に『ヤマトタケル』(1994 年、東宝)、『八つ墓村』(1996 年、東宝)、『モスラ』(1996 年、東宝)、『クロスファイア』(2000 年、東宝)、『ラフ ROUGH』(2006 年、東宝)など。映画約 100 作品を担当。1994 年日本アカデミー賞協会特別賞を受賞。

●若狭 新一(わかさ しんいち) 造形プロデューサー

怪獣造形/特殊メイク、1960 年東京都生まれ。MONSTERS,INC.代表取締役。少年時代より仮面ライダーに傾倒し、怪人・怪獣造形を志す。高校卒業後、コスモプロダクションに入社。1980 年に 20 歳で MONSTERS,INC.を立ち上げ、以降、特殊メイク、怪獣造形のスペシャリストとして活躍し、『ゴジラ』、『モスラ』の両シリーズ、『ガメラ 2 レギオン襲来』(1996 年、東宝)に参加。その他の参加作品に、『パコと魔法の絵本』(2008 年、東宝)、『ヤッターマン』(2009 年、松竹・日活)、『空気人形』(2009 年、アスミック・エース)、『GANTZ』(2011 年、東宝)、『奇跡』(2011 年、ギャガ)、『プラチナデータ』(2013 年、東宝)、『ガッチャマン』(2013 年、東宝)、『テラフォーマーズ』(2016 年、ワーナー・ブラザース映画)など。

●藤下 忠男(ふじした ただお) エフェクトアニメーションスーパーバイザー 1954 年静岡県生まれ。日本エフェクトセンター株式会社 代表取締役社長。1979 年日本エフェクトセンターに入社。オプティカル・プリンターで CM、映画のフィルム合成を担当。円谷プロの『ウルトラマンティガ』(1996~1997 年、TBS 系)より「平成ウルトラシリーズ」が始まり、デジタルによるエフェクトアニメーションに携わる。その後『劇場版ウルトラマンコスモス THE FIRST CONTACT』(2001 年、松竹)よりエフェクトアニメーションスーパーバイザーとして今日に至る。その他の参加作品に『やじきた道中 てれすこ』(2007 年、松竹)、『大決戦! 超ウルトラ 8 兄弟』(2008 年、松竹)など。

●杉村 克之(すぎむら かずゆき) CG プロデューサー

1955 年東京都生まれ。美術アシスタント、番組制作会社のアシスタントディレクター、喫茶店勤務の後、日本で最初の商業 CG スタジオ JCGL(ジャパン・コンピュータ・グラフィックス・ラボ)に入社。その後、株式会社ナムコ、株式会社リンクスなどを経て 1997 年に株式会社フレームワークス・エンターテインメントを設立。参加作品に『劇場版ウルトラマンコスモス THE FIRST CONTACT』(2001 年、松竹)、『男たちの大和/YAMATO』(2005

年、東映)、『ヤッターマン』、『幕末高校生』(2014年、東映)、『映画 暗殺教室〜卒業編〜』(2016年、東宝)、『仮面ライダー』劇場版シリーズなど。

●市村 昭弘(いちむら あきひろ) ディレクター

1956年新潟県生まれ。株式会社国際企画、二番工房にてCMディレクター、株式会社東北新社にて番組ディレクターを担当。参加作品に「ヤマハ」、「BOBSON」、「KOITO」、「NTTドコモ四国」のCMや『破壊せよ“役者”という殻を 香川照之・北京』(2012年4月5日、NHKBSプレミアム)、『シネマの中へ 長塚京三 映画の話』(CS ザ・シネマ)がある。

●諏訪 操旺(すわ みさお) プロデューサー

1954年群馬県生まれ。株式会社国際企画、株式会社二番工房、Catにてプロデューサーを担当。「AC ジャパン」、「三菱石油」、「東芝エアコン」、「ブラザー」、「三洋電機」、「永谷園お茶づけ海苔」、「少林寺拳法ロゴマーク」など多数のプロデュースを手掛ける。

●松尾 和之(まつお かずゆき) プロデューサー

1952年愛知県生まれ。元株式会社スタジオアルタ取締役・エグゼクティブプロデューサー。1980年フジテレビジョンと三越、ニッポン放送の合弁会社、株式会社スタジオアルタの設立スタッフとして入社。制作部にてテレビ番組、CM制作に携わる。CM、番組のプロデュースのほか、岡本 喜八監督自ら出演、演出の特別ドキュメンタリー番組『喜八・吹きガラスに魅せられて』(1998年、テレビ東京)で音楽に携わる。映画『娘道成寺 蛇炎の恋』(2004年、パンドラ)では、音楽監督を担当。2004年フジテレビ放送番組『ザ・ノンフィクション 東京行商女人生哀歌』(2003年、フジテレビ)にてギャラクシー選奨を受賞。

●小形 英正(おがた ひでまさ) プロデューサー

1957年神奈川県生まれ。株式会社ホリ企画制作(現:ホリプロ)、株式会社東洋シネマにてCMの制作とアシスタントプロデューサーを経験後、1987年株式会社葵プロモーション(現:AOIPro.)に入社。チーフプロデューサーを務める。現在は株式会社ユウにて代表取締役を務め、「自分プロデュース」運営や広告制作など多岐にわたって活動中。これまでの参加作品に「mandom」、「グリコポッキー」、「資生堂肌水」、「アーモンドグリコ」のCMやテレビドラマ、映画、イベント、政府広報など多数。

●高澤 公明(たかさわ きみあき) プロデューサー 1946年東京都生まれ。学生時代、国際放映のテレビ番組の制作進行を、バイトながら務めたことをキッカケに業界入り。その後、先輩の紹介でCM製作会社芸研プロダクションに入社。35歳で独立後、CM製作プロデューサーとして活動を行う。「SONY」、「サントリー」、「コーセー化粧品」、「ハウス食品」、「サンスター」、「ロッテ」、「東芝」、「出光」、「サッポロビール」などの作品に多数参加。